

1 教職員研修について

一昨年度末より市内全小・中学校に導入された校務用コンピュータの活用についての実技研修会を実施した。特に本支部では、今年度から小学校において通知表・指導要録の電子化を進めており、中学校でも来年度から実施される予定である。そのため、より一層の校務用コンピュータの活用が求められている。その他にも多くの機能のある校務支援システムについて、効率的・効果的な活用を目指し、研修を行った。

2 夏季実技研修会

- (1) 日 時 平成 23 年 7 月 29 日 (金) 13:00～16:00
- (2) 場 所 八幡浜市立八代中学校
- (3) 参加者 市内小・中学校の情報・視聴覚教育部員及び希望者 33 名
- (4) 講 師 株式会社文溪堂
- (5) 内 容

① 校務支援システム「Te-comp@ss」活用研修

ア グループウェア機能

- (ア) 文書回覧の作成、配布、確認について
- (イ) 教科・行事名の設定について
- (ウ) 管理者グループの設定について
- (エ) 担当クラス・教科の設定について
- (オ) ヘルプの活用について

イ 成績処理

- (ア) 成績出力について
- (イ) 自由レイアウト作成について

ウ 転出入の処理について

- エ 週案機能 (年間指導計画登録について)
- オ トップ画面について

② 情報交換

市内各校に配備された校務用コンピュータの活用状況や課題、情報教育の年間指導計画の作成などについて話し合い、意識統一を図った。

3 成果と今後の課題

校務支援システムの研修を通して、システムの活用の幅が広がり、今後の更なる活用に見通しをもつことができた。情報教育主任以外の先生方への参加も呼びかけたところ、多数の先生方に参加していただき、研修を深めることができた。

しかし、活用されている機能はまだ一部であったり、各校によって活用の状況も違ったりしているのが現状である。今後も研修を重ね、市内全教職員がシステムについての理解を深め、操作する技術を身に付けていく必要がある。

また、教科指導における ICT の活用についても今後さらに研修を深めるとともに、児童生徒のコンピュータの活用や情報モラルについての指導も計画をもとに系統的に実施していく必要がある。